

北海道地域福祉学会 2024年度 全道研究大会

北海道における 包括的な支援体制の構築に向けて

主催：北海道地域福祉学会 共催：日本地域福祉学会北海道支部

後援：社会福祉法人北海道社会福祉協議会／一般社団法人Wellbe Design

2025

3月20日
(春分の日)

北海道内市町村における 効果的な地域福祉の推進を目指して

- 当学会では「地域の多様な主体による包括的な支援体制の構築」を本年度の研究テーマに掲げ、北海道における「包括的な支援体制」や「重層的支援体制整備事業」の構築に向けた課題やあり方についての探求を深めています。
- 北海道内外の自治体職員の皆さまをはじめ、福祉対人援助職や各種支援実施機関、今後福祉専門職として活動する学生の皆さまなど、多くのご参加をお待ちしております。

申込期日

3月10日(月)

★参加特典★

研究会終了後一定期間アーカイブ配信を行います。(映像収録の不良により配信できない場合がありますのでご了承ください。)

会場：北星学園大学C館4階 / オンライン参加可能

【第1部】 10:00～12:00 自由研究発表・実践研究発表（対面実施のみ）

【第2部】 12:30～17:00 地域福祉優秀実践賞授賞式／シンポジウム／研究討議

※第1部は対面実施とし、オンライン参加はできません。第2部はオンライン参加が可能です。



お申し込み・開催要綱等詳細はコチラ

<https://hacd.jp/competition/2024taikai>

第1部（対面実施のみ）

自由研究発表・実践研究発表

- 当学会会員による発表を行います。
- 会員以外の皆様もご参加いただけます。
- 発表内容については3月3日頃に当学会ホームページに公開します。



第2部（対面・オンライン併用）



第7回地域福祉優秀実践賞 授賞式

- NPO法人ワーカーズコープあさひかわ 様
 - 芸術の森マルシェ「八百カフェ」実行委員会 様
- ※両団体から実践内容等を踏まえたスピーチをいただきます



シンポジウム：北海道における包括的な支援体制の構築に向けた課題とポイント

北海道における包括的な支援体制の構築に向けたヒントを総合的に捉えるため、北海道、市町村、地域福祉研究者がそれぞれの立場から捉えている課題について報告し合い、北海道の特徴を踏まえた包括的な支援体制の構築に向けた論点を整理します。

シンポジスト

- 北海道保健福祉部福祉局地域福祉課
地域福祉推進係 係長 神原 雅人氏
- 社会福祉法人広尾町社会福祉協議会
権利擁護コーディネーター 川原 颯太氏
- 北海道教育大学教育学部函館校
教授 齋藤 征人氏

研究討議：北海道における包括的な支援体制の構築のヒントを見出す

シンポジウムで整理された課題と論点を基に、参加者相互によるディスカッションを通しながら、北海道における包括的な支援体制の構築に向けたヒントを検討します。

参加費

①会員及び会員団体：無料

- 会員は「北海道地域福祉学会員」若しくは「日本地域福祉学会員のうち、北海道部会員（団体含む）」に限ります。
- 会員には個別郵送する封書にクーポンコードを同封します。申込時にクーポンコードを記入することで参加費が無料になります。

②非会員：2,000円（個人1名につき）

③団体：5,000円

- 同一組織の所属員であれば何名でも参加可能
- 当学会の団体会員は①の区分とし、無料で参加ができます。

④学生（院生を除く）：無料

北海道地域福祉学会について

当学会は1992年に「市町村は地域福祉を担えるか」をテーマに開催された第6回日本地域福祉学会北海道大会を契機に1993年10月9日に創設し、以来、福祉・保健・医療のみならずNPO等の市民団体などの幅広い分野の会員と共に30年にわたる地域福祉研究を行ってきました。

北海道内外の地域福祉実践者や研究者など約100名が所属し、研究活動や機関紙「北海道地域福祉研究」の発行、地域福祉優秀実践賞の顕彰を行っています。

地域福祉にかかわる皆さまの入会を心よりお待ちしております。

年会費

個人5,000円

団体10,000円

本研究大会にあわせて入会をする場合は、2024年度会費は無料といたします